

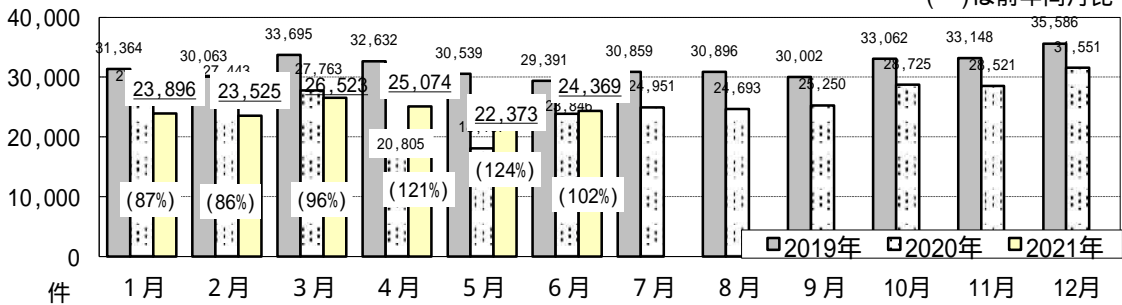
我が国の省庁等、政府系機関からは日々多種多様な情報が発信されます。(株)現代文化研究所はその中から広くモビリティに関する注目情報を所定期間にわたりピックアップ、テーマを設定した上で、その切り口から関連情報を整理し、お伝えします。

コロナ禍での交通事故発生状況-2021年6月

< 概要 >

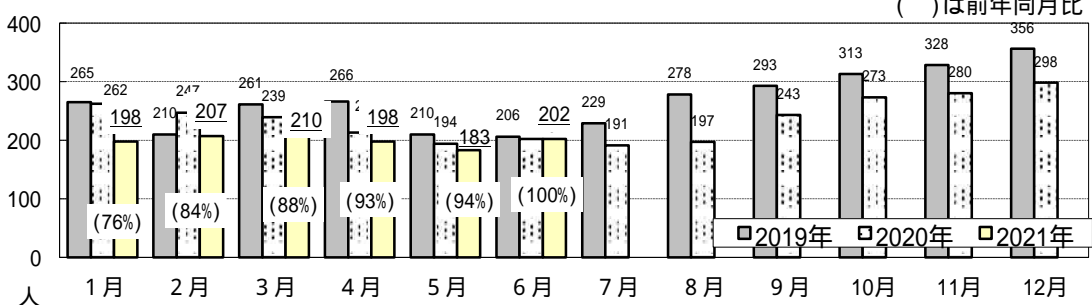
- 交通事故発生件数は、今年になっても前年同様、減少傾向であったが、4月以降は増加に転じ(図表1)、5月までは昨年を下回る傾向であった交通事故死者数も6月は昨年と同数となった。(図表2)
- 6月20日まで沖縄を除く9都道府県では緊急事態宣言が発令されていたが、2019年との週単位での移動人口減少幅は、4月以降は、昨年を下回る傾向となっている(図表3)。この移動人口の増加傾向により交通事故や死者数が今後、増加してしまう懸念もある。

図表1. 2019~2021年の月別交通事故発生件数



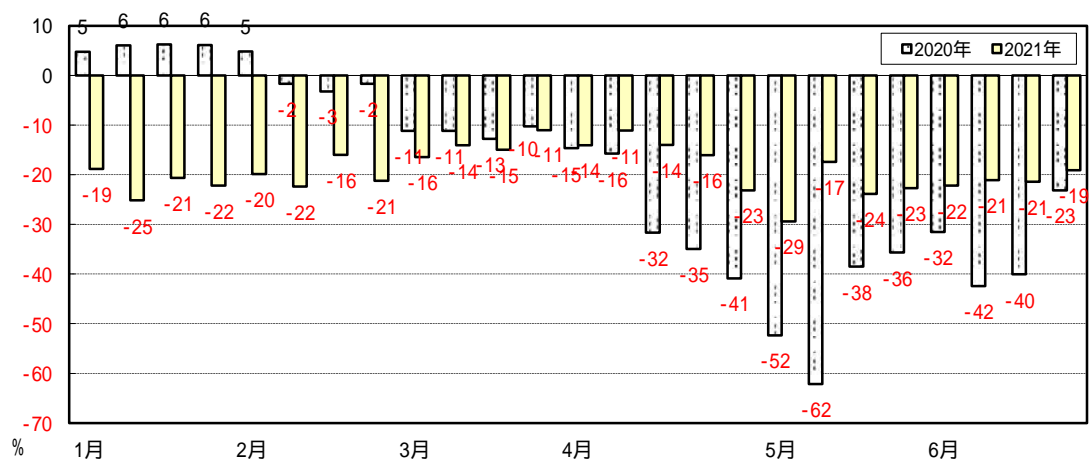
出典：警察庁「交通事故統計」

図表2. 2019~2021年の月別交通事故死者数



出典：警察庁「交通事故統計」

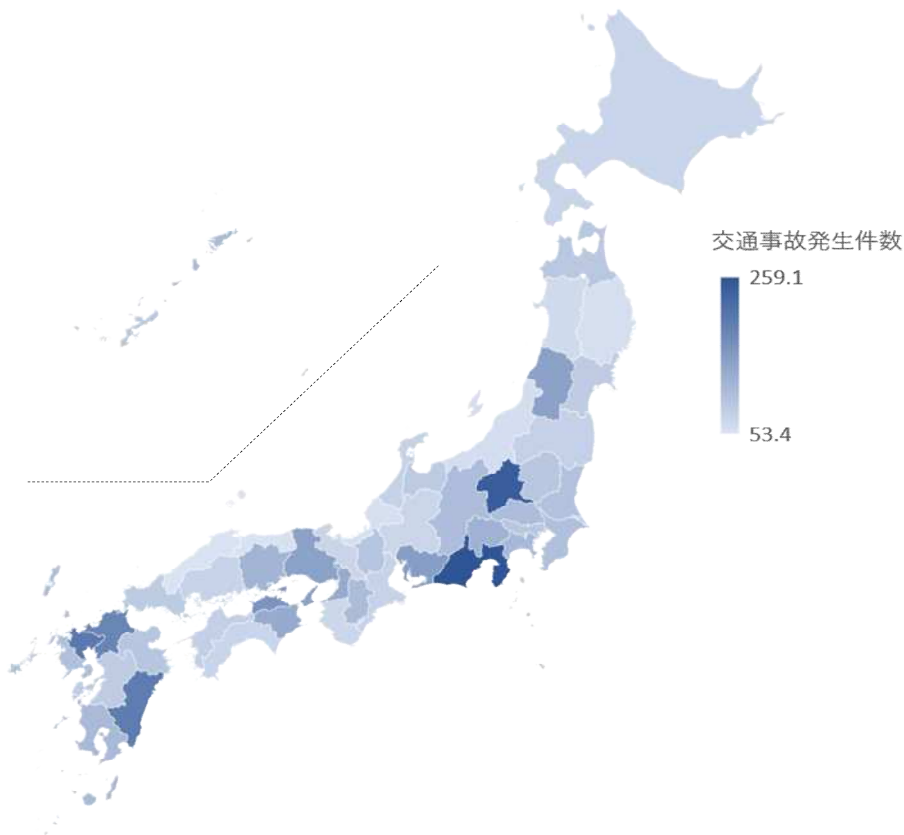
図表3. 全国の移動人口の動向 (2019年同週比 [%])



出典：V-RESAS(内閣府 地方創生推進室 ビッグデータチーム)「移動人口の動向」

・都道府県別に人口10万人あたりの交通事故発生件数(1～6月の累計)をみると、最も多いのは、静岡県で259.1件、次が群馬県で246.4件。以下、佐賀県206.6件、宮崎県201.0件、福岡県188.8件と続く。(図表4、補足表)

図表4. 都道府県別の人口10万人あたりの交通事故発生件数(2021年1～6月累計)



補足表：各都道府県の人口10万人あたりの交通事故発生件数(2021年1～6月累計)

人口10万人あたりの交通事故発生件数が多い順

1位	静岡	259.1 件	21位	茨城	100.6 件	41位	和歌山	71.1 件
2位	群馬	246.4 件	22位	滋賀	96.7 件	42位	秋田	64.5 件
3位	佐賀	206.6 件	23位	大分	93.8 件	43位	新潟	61.1 件
4位	宮崎	201.0 件	24位	栃木	93.6 件	44位	岩手	59.8 件
5位	福岡	188.8 件	25位	東京	93.4 件	45位	福井	57.4 件
6位	香川	166.5 件	26位	青森	91.9 件	46位	鳥取	55.4 件
7位	愛知	153.3 件	27位	沖縄	91.5 件	47位	島根	53.4 件
8位	兵庫	148.2 件	28位	富山	88.7 件			
9位	山形	147.6 件	29位	山口	88.5 件			
10位	大阪	134.4 件	30位	宮城	86.4 件	全国平均	115.5 件	
11位	徳島	133.9 件	31位	熊本	86.2 件			
12位	山梨	122.6 件	32位	愛媛	80.4 件			
13位	岡山	120.5 件	33位	福島	78.9 件			
14位	神奈川	114.8 件	34位	石川	77.8 件			
15位	鹿児島	111.2 件	35位	三重	77.1 件			
16位	奈良	108.9 件	36位	広島	77.0 件			
17位	長野	107.9 件	37位	高知	73.9 件			
18位	埼玉	107.9 件	38位	北海道	73.5 件			
19位	長崎	103.4 件	39位	京都	73.0 件			
20位	千葉	103.3 件	40位	岐阜	71.6 件			

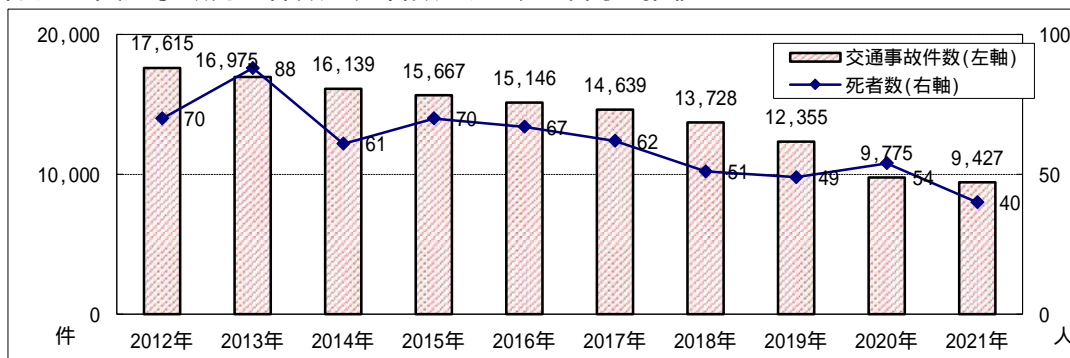
出典：警察庁「交通事故統計」

〔トピック〕静岡県の交通事故の発生状況

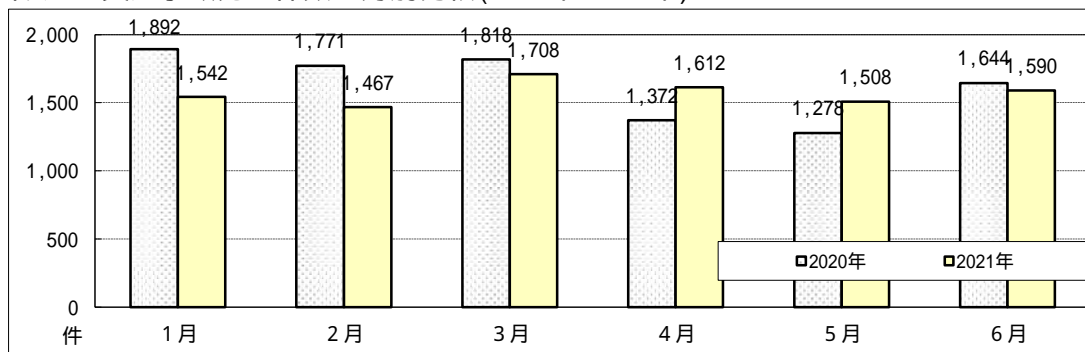
出典：静岡県警察（注意 警察庁の統計データと異なる場合がある）

- ・全国比較で人口10万人あたりの交通事故発生件数(1～6月の累計)をみると、最も多いのは、静岡県だったが、6月末までの累計では、交通事故発生件数、死者数とも昨年を下回っている。(図表5)
- ・交通事故発生件数を昨年と月別に比較すると、全国水準では4月以降悪化気味(前出図表1)であったが、静岡県は4月と5月は昨年を上回ったものの、6月は下回っている。(図表6)
- ・交通事故を類型別にみると、静岡県で最も多いのは『追突』の3,287件で、交通事故総数の35%を占めている。(図表7)

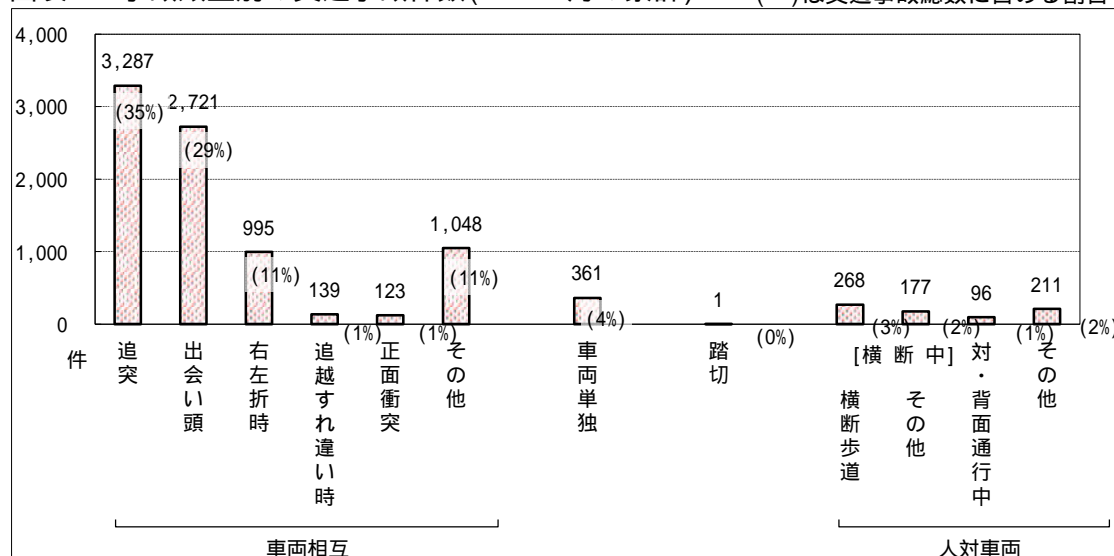
図表5. 交通事故発生件数と死者数の過去10年間の推移



図表6. 交通事故発生件数の月別比較(2020年:2021年)



図表7. 事故類型別の交通事故件数(1～6月の累計) ()は交通事故総数に占める割合



お問合せ：(株) 現代文化研究所 市場戦略情報第一領域（担当 原田） senryaku1-ml@gendai.co.jp